

75 歳以上の医療費窓口負担 2 割化が高齢者の受診行動に与える影響に関するアンケートにご協力をお願いします。

12 月 15 日政府は、75 歳以上の医療費窓口負担について年収 200 万以上(単身の場合)の約 370 万人を 1 割から 2 割に引き上げる方針を閣議決定しました。窓口負担関連法案を来年の通常国会に提出し、2022 年 10 月に引き上げすることを計画しています。

コロナ禍の中で、高齢者の生活は大変厳しくなっており、感染リストを背負いながら、精神的、肉体的、経済的にも追い詰められています。

その上、75 歳以上の医療費 2 割化が実施されれば、医療機関への受診抑制が経済的にも進み、必要な医療が受けることができなくなる高齢者の方が多くなると予想されます。

わたしたちは、このような受診行動の変化がどのように起こるのか、アンケートを実施し菅内閣の推し進める「全世代型社会障」政策に抗する闘いを進めてゆくための一助にしたいと思います。

II. アンケート内容

- 対象者属性 年齢 家族構成 収入形態 就労実態
- 窓口負担値上げが受診行動に与える影響

III. アンケートの実施の期間、方法

実施期間	2020 年 12 月中旬から 2021 年 3 月末
実施対象者	75 歳以上の高齢者 2000 人
実施	日本高齢期運動連絡会各県連絡会加盟団体の構成員を対象に実施。 全日本年金者組合 1000 その他各県連絡会 1000(各県 30~100)

アンケートはこちらから ご回答ください。



<https://forms.gle/GqTWbmbKDzfvS6aV9>

